平成27年度 学校評価 総括評価表

評価基準 A：十分に達成できた B：概ね達成できた C：十分には達成できなかった D：全く達成できなかった

平成27年度重点課題

- 1 開かれた学校づくり
- 2 基礎学力の充実と応用力の育成
- 3 長所を伸ばし適性を引き出す教育の推進
- 4 基本的生活習慣の確立と規範意識の高揚
- 5 人権意識の高揚
- 6 環境教育の推進
- 7 防災教育の推進

自 己 評 価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評 価	学校関係者の意見	
1 開かれた学校づくり	①家庭・地域へ向け積極的に情報を発信する。 ②保護者と積極的に情報交換し、日頃の教育活動に生かす。 ③学校行事を充実させると共に積極的な公開に努める。 1 市高祭の公開 2 体験入学の実施	評価指標 ①学校ホームページへのアクセス件数 100000件以上 ②PTA総会・学年部会の参加率を増やす。 ③市高祭の入場者数 1000人以上を目指す。 ③アトラクション・表現展示の参加団体数30以上を目指す。 ③体験入学参加者数 500人以上を目指す。	評価指標の達成度 ①アクセス件数 約 145000 件(2015/4/ 1～2015/12/31) ②PTA総会の参加率 34.3% 昨年 33.4% 3年対象進路別説明会 36.5% 昨年 61.6% ③市高祭の入場者数 1197名 昨年 1221名 ③アトラクション数 11 昨年 11 表現展示数 24 昨年 24 食品バザール数 8 昨年 8 ③体験入学参加者 1203 名 (中学生1026保護者:177) 昨年 885名 (中学生:763 保護者:122)	総合評価 (評定) A (所見) 今年もPTA総会と進路講演会を連続して実施するという形態を継続し、例年並みの参加率となった今後もさらに内容の充実を検討をしていきたい。 アトラクション・表現展示・食品バザールとも昨年と同数実施し、入場者数も他校との文化祭等と重なってはいたが、昨年と同水準であった。 体験入学の参加者が増加しており、本校へ関心を持っている中学生、保護者が多いことが伺える。	HPの更新が頻繁になり、学校生活の様子が保護者や卒業生、中学校にも良く伝わるようになったことは評価されている。PTAの活動についても熱心に取り組んでいるので、今後お願いしたい。 ①ホームページの更新を速やかに行い、情報提供をできるようにしていきたい。 ②PTA総会について今後も日程等を工夫して参加率を上げていきたい。 ③今年人気お笑い芸人を呼ぶなど新しいイベントを企画し、大いに盛り上がった。今後も企画運営等を改善し、より地域に親しまれる市高祭にしていきたい。 ③体験入学の参加者は昨年度から増加しているが、新校舎効果も落ちついてきたと思われる。今後も市高の魅力を発信して広報に努力したい。 ③体験入学は毎年好評で、今後もアンケートを実施し、その結果を次回に反映するように努力したい。
		活動計画 ①ホームページの更新を年に100回以上行う。 ②PTA総会の日程を工夫したり、配布物による案内だけでなく、電話連絡をするなどきめ細かい情報提供・交換を行う。 ②PTA主催の各行事毎に、保護者へのアンケートを実施する。 ③学校・保護者による作品展・交流を行う等、内容の充実を目指す。	活動計画の実施状況 ①更新回数 350 回 (2015. 4. 1～2015. 1. 26) ②PTA主催の学校教育活動の開催に際し、日程を見通し、工夫を行うとともに、案内状を配布するだけでなくホームページに掲載するなど、情報提供を行った。 ②PTA 家庭教育部主催文化教養講座でのアンケート結果より(1)平日の午後実施の希望が多く、(2)内容については和食文化を引き継ぐ企画を望む声が複数あった。 ③生徒会役員を中心に市高祭ポスターを作成し、各中学校や高等学校へ案内した。また、地域住民には市高祭の案内の文書を各家庭に生徒が配布するなど、広報活動に		

		③事前の計画を綿密に立て、魅力ある公開授業やわかりやすい説明に努める。	<p>努めた。</p> <p>③保護者からも70点の作品を展示する事ができた。</p> <p>③体験入学のポスターやチラシを事前に作成し関係中学校への広報活動にまわった。また、中学生が希望する授業を体験できるよう時間割を組んだ。アンケート調査からは、約94%の中学生が体験授業が分かりやすかったと感じており、高校の授業の様子が分かり、進路決定の参考にしたいという感想があった。</p>		
2 基礎学力の 充実と応用 力の育成	<p>①授業日数・授業時数の確保に努める。</p> <p>②わかりやすく、魅力ある授業に努める。</p> <p>③学習習慣の定着を図る。</p> <p>④補習への積極的な参加を促す。</p> <p>⑤校内実力テストを有効に活用するとともに、希望者受験の模試の積極的な受験を促す。</p> <p>⑥読書を薦める。</p>	<p>評価指標</p> <p>①授業時数を800時間以上確保する。</p> <p>②(1年)「学習のかたち週間」を1・2学期の初めに実施する。 (2,3年)「学習のかたち週間」を1学期の初めに実施する。</p> <p>②授業満足度70%以上を目指す。 ②校内授業参観週間を1・2学期に1回ずつ設定する。</p> <p>③家庭学習時間調査を定期考査前に実施し、3時間以上学習する生徒の割合を増やし、40%以上を目標とする。 ③毎月の学習計画表と長期休暇中の学習計画表を配布し、定期的集めてコメントを記し、学習がうまくいっていない生徒に対しては、面談の中で助言や指導をして学習習慣の改善を図る。 ③自習室の活用を積極的に促し、利用者延べ人数1万5千人を目指す。</p> <p>④(1,2年)全員参加補習の皆勤者数100人以上を目指す。 ④(3年)受講講座への出席率90%以上を目指す。</p> <p>⑤希望者受験模試の受験者数(延べ人数)は次の人数を目標とする。 (1,2年) 840人以上 (3年) 1700人以上</p> <p>⑥(1年)夏休みの読書の宿題を全員提出する。</p> <p>⑥図書館便りを年7回発行する。</p> <p>活動計画</p> <p>①行事を精選し、授業カットや短縮はなるべく避け、振り替え授業を徹底する。 ①45分の授業に集中するため、チャイムとともに授業を</p>	<p>評価指標の達成度</p> <p>①ほぼ昨年並みの授業時数が確保できている。 2学期末までの授業時数 今年度 824 昨年度 845 一昨年度 839</p> <p>②「学習のかたち週間」 1年 2回実施 2,3年 1回実施</p> <p>②教科会議 教科により差はあるが平均 5回開催 ②授業満足度 3学年平均 76.7% ②校内授業参観週間 1.2学期 1回ずつ実施</p> <p>③週課題(日々の課題は含まない) 1年 英語 13回 数学 13回 国語 13回 2年 英語 15回 数学 16回 国語 13回 (2学期末現在)</p> <p>③家庭学習時間調査 4回実施(12月現在) ③自習室ののべ利用生徒数20,300人(12月末現在)。</p> <p>④補習皆勤者数 1年143人(44.6%)2年122人(38.1%) (12月末現在) ④3年生補習申込者に対する受講率 約 50 %</p> <p>⑤オプション模試受験者数(延べ人数) 1年 245名 2年 240名 3年 1392名 (1,2年生は2月末現在)</p> <p>⑥読書の宿題 1年 読書感想文 - 全員提出 世界史レポート - 一部提出</p> <p>⑥図書館便り 8回発行</p> <p>活動計画の実施状況</p> <p>①出張・年休は可能な限り振り替え授業で対応した。授業時数の確保については、全職員共通認識の上で定着しつつある。</p>	<p>総合評価</p> <p>(評定) A'</p> <p>(所見) わかりやすく生徒にとって魅力ある授業を目指し、校内授業参観等を通して、今後も努力を継続したい。 教科会議は、事務的なことに費やされることが多い。今後指導力向上に関する教科内での積極的な話し合いができるように見直していきたい。 生活記録を提出している生徒には、自らの学習状況を把握し振り返ることができており、学習意識の向上に役立っている。 家庭学習時間調査は担任の生徒の学習時間把握に役立ち、生徒においても自らの学習時間に対して意識するよい機会となっている。 特設コーナーを設け探しまわらなくてもすぐ手に取る事ができるようにし、ポップで内容紹介文もつけた。</p>	<p>家庭学習時間調査では、0時間の生徒が減少して状況が改善されてきている。3年生の補習受講率を上げるためにどのような工夫が必要か検討してほしい。</p> <p>①行事日程の見直しや行事の精選によって時数を確保できた。</p> <p>②校内授業参観や教科会議が、授業力や指導力の向上に十分機能するよう時間の確保を含め、充実させる。教科会議は学年教科会の充実もはかりたい。</p> <p>②教師は自らの授業を客観的に見つめる目を持ち、生徒の実態、要望を分析し、授業内容の研究・改善に努める。</p> <p>③家庭学習の習慣化や授業内容の定着のための週末課題や日々の課題は充実しているが、さらに生徒の意欲を喚起し、目的意識を持たせることが大切である。</p> <p>④補習の意義をHR担任・教科担任が生徒に理解させ出席を督促するとともに、補習の内容も常に改善・向上させていく必要がある。</p> <p>⑥読書に親しむ機会を生徒が多くもつように教科や各分掌で勧める。</p> <p>⑥図書館利用の促進を引き続きはかっていきたい。</p>

		<p>始める。</p> <p>②学期の最初の1週間を「学習のかたち週間」とし、全教科科目で実施する。予習・復習・ノートのとり方・授業に臨む態度など望ましい学習習慣の定着に努める。</p> <p>②教科会議で話し合い、授業方法の改善に努める。生徒による授業評価を行う。</p> <p>②校内授業参観週間では授業参観カードを有効に利用し、教師相互の授業改善に努める。</p> <p>③週間課題・日々の課題で学習の習慣化を図る。</p> <p>③家庭学習時間調査の期間を学習強化週間として学習習慣の定着を促進する。</p> <p>③集会・面談等において家庭学習時間の確保と重要性を指導し、学習記録に記すことで学習計画を立てる習慣をつける。</p> <p>③生徒が集中して学習に取り組める環境を確保する。</p> <p>④担任による生徒への出席の督促と保護者の協力により欠席者を減らす。</p> <p>④(3年)担任指導により欠席者への受講を促す。</p> <p>⑤実力テストごとに出題検討委員会を開く。</p> <p>⑤各模試の目的・意義を伝える。</p> <p>⑤成績の分析を今後の学習指導に役立てる。</p> <p>⑥夏休みの宿題として、以下のものを提出させることで正確に読みの確に表現する力を向上させる。。 (1年夏休み)読書感想文・世界史レポート</p> <p>⑥図書館便りで新着図書や推薦図書の案内を行うとともに、各教科からも案内を行う。</p>	<p>②1,2年生生徒対象進路講演会、職員対象進路研修会を実施し、進学への心構えや取り組み方、進路指導技術について学んだ。</p> <p>②アンケートによると、95.7%の教員が授業に対して、創意工夫している。</p> <p>②校内授業参観週間では、自分の専門教科を最低1回は参観し、参観カードを必ず提出するようにした。</p> <p>②研修会への参加教員からはレポートを提出してもらい、教科内で共有した。</p> <p>③週課題・日々の課題は必要に応じ出されている。</p> <p>③家庭学習時間調査は学習強化週間に行い担任からの声かけに生かしている。</p> <p>③各HR担任は生徒から提出された「生活記録」にコメントを書いたり、日々の声かけや面談時に生活記録の内容に言及することで生活の改善を促している。</p> <p>③自習室開放を平日8:30～19:00、休日8:30～16:30にほぼ年間を通じて実施している。12月末で260日開放、のべ利用生徒数20,300人。</p> <p>④電話連絡・三者面談等の機会を通じて補習への出席を督促している。</p> <p>⑤各HR担任が個人面談等を通して校内実力テスト・校外模試の目的・意義を伝え、学習意欲の高揚をはかるように指導している。</p> <p>⑤校内実力テスト・校外模試の結果は学年・教科で共有し、平素の指導に役立てている。</p> <p>⑥1年は読書感想文と世界史のレポートを実施し、読書感想文は全員提出した。</p>		
<p>3</p> <p>長所を伸ばし適性を引き出す教育の推進</p>	<p>①部活動の活性化に努める。</p> <p>②生徒一人ひとりの進路希望の実現に努める。</p>	<p>評価指数</p> <p>①部活動加入率 80%以上。</p> <p>①四国大会以上の大会への出場部数10部以上。</p> <p>②進路についての検討会（進路対策会議）を下記の回数実施する。 (1,2年)年間 2回 (3年)年間 5回</p> <p>②生徒・保護者・担任の三者面談を年間2回確保する。</p>	<p>評価指標の達成度</p> <p>①部活動加入率 1年 87.0% 2年 93.0% 3年 85.0%</p> <p>①四国大会以上の出場部数 四国大会 13部 全国大会 6部</p> <p>②進路対策会議 1年 2回 2年 2回 3年 5回</p> <p>②3者面談</p>	<p>総合評価 (評価) A</p> <p>(所見) 部活動が活発に行われており、生徒の満足度は高いと思われる。さらなる充実感が得られるような指導の取り組みが求</p>	<p>部活動の加入率が非常に高く、本校の特徴となっている。これからも文武両道で頑張ってもらいたい。アンケート結果でも部活動や学校祭等生徒の目に直接見えるものの評価が高いが、目に見えないものをいかに評価につなげていくか、今後の検討課題である。</p> <p>①部活動加入率は目標値を達成しているが、1年の加入率が減少してきている。より意欲的に部活動ができるように生徒をサポートしていきたい。</p> <p>①弓道部女子が全国選抜大会で優勝するという快挙を成し遂げた。インターハイ優勝と選抜大会連覇に向け支援していきたい。</p> <p>②難関大の合格者数が目標</p>

		<p>①学年集会，全校集会で指導する。</p> <p>①毎月の交通マナーアップ運動の日，学校安全の日に街頭指導をする。</p> <p>-----</p> <p>②遅刻理由を把握し指導する。 ②遅刻の多い者には各学年団で指導を行う。</p>	<p>に達成できた。</p> <p>①集会における指導は，問題行動を防ぐことができるような内容とし，生徒の健全育成に努めた。</p> <p>①毎月10日の交通マナーアップ運動は，職員・生徒が警察署・地域の交通安全協会の方と共に街頭に立ち指導した。毎月20日の学校安全の日は，職員で街頭指導した。年度や学期の始めは，連続した街頭指導を行っている。</p> <p>-----</p> <p>②遅刻理由を把握し，適切な遅刻指導が行えた。各学年において遅刻指導を実施した。</p>	<p>ナーが向上してきた。</p>	
5 人権意識の高揚	<p>①人権ホームルーム活動の充実を図る。</p> <p>②人権委員会を中心とした生徒の自主活動の充実を図る。</p> <p>③人権教育職員研修会の充実。</p>	<p>評価指数</p> <p>① 1年生は6回，2年生は6回，3年生は5回以上の人権ホームルーム活動を確保する。</p> <p>① 1年生は3回，2年生は3回，3年生は2回以上の先行授業及び研究授業を目指す。</p> <p>-----</p> <p>②各HRの人権委員に人権ホームルーム活動の事前研修を実施する。</p> <p>②「市高人権新聞」は年間6回以上の発行を目標とし，記事には人権委員が書いたものを2つ以上掲載する。</p> <p>②「人権展」では模造紙16枚以上を目標とし，来場者100人以上を目指す。</p> <p>②中高生による人権交流集会への参加を増やす。</p> <p>-----</p> <p>③ PTA研修は2回，校外研修は1回，校内研修は3回以上の開催を目指す。</p>	<p>評価指標の達成度</p> <p>①HR活動 1年生…6回，2年生…7回，3年生…5回</p> <p>①先行授業 1年生…3回，2年生…2回，3年生…2回</p> <p>-----</p> <p>②事前研修 1年生…3回，2年生…3回，3年生…2回</p> <p>②市高人権新聞を年間6回発行</p> <p>②「人権展」で16以上を展示</p> <p>②人権交流集会に2名が参加</p> <p>-----</p> <p>③ PTA研修は2回，校外研修は1回，校内研修は4回を開催</p>	<p>総合評価 (評定)</p> <p style="text-align: center;">A</p> <p>(所見)</p> <p>人権ホームルームの実施にあたり，研修会の日程や内容を調整し，先行授業や指導案作成のを参考になるよう配慮した。各クラスで生徒の実態に即した指導や，人権ホームルームができたと思われる。今後は，人権問題に対して生徒が主体的に授業に参加できる形を目指し，人権問題を「身近」なものとして考えられる生徒を育成したい。</p> <p>人権委員会の活動も年間を通して活発に行えた。人権新聞や人権展など，授業以外で人権を考える場となった。</p> <p>人権教育職員研修は，年4回実施できたが，多様な人権問題に対する教職員の要望に応えられるように，研修のあり方や内容は毎年工夫していく必要がある。</p>	<p>人権新聞は教室掲示に加えて，HPでの閲覧もできるようになったが，生徒の意見を反映させたり，興味をひくような内容について今後も検討を重ねてほしい。</p> <p>人権教育は学校教育の大きな課題であるので，今後も地道に取り組んでいってほしい。</p> <p>①人権委員のホームルームでの活動をより支援できるようにしていき，生徒同士の自発的な学びができるように工夫していきたい。</p> <p>②人権新聞に，生徒の率直な意見を掲載し，生徒間で話題となるような記事を提供していきたい。</p> <p>③教職員人権研修のテーマを学校の現状と照らし合わせ，より実践的な現場で生かせる内容にしていきたい。</p>
		<p>活動計画</p> <p>①人権教育年間計画に基づき，各クラスの実態に即して指導を行う。</p> <p>①担任会で人権ホームルーム活動の事前研修を実施する。</p> <p>①各学年で先行授業(研究授業を含む)を実施する。</p> <p>①1年次と最初と3年時の最後に，人権問題意識調査を実施する。</p> <p>-----</p> <p>②各HRの人権委員に人権ホームルーム活動の事前研修を実施する。</p> <p>②人権ホームルーム記録用紙を作成する。</p> <p>②「市高人権新聞」を発行する。</p> <p>②市高祭で「人権展」を開催する。</p> <p>②「人権啓発作品展示」を実施する。</p> <p>②中高生による人権交流集会へ参加する。</p>	<p>活動計画の実施状況</p> <p>①1年生では，身の回りの差別を中心に指導を行った。2年生では，アイヌから始め，近代・現代の歴史を学習した。3年生は企業・就職・結婚を中心に指導を行った。</p> <p>①担任の先生方に，先行授業を見てもらった後，授業感想用紙による振り返りを行った。</p> <p>-----</p> <p>②2年生では，講師の先生の都合もあり，全体学習の回数が増えた。それにより，人権委員の事前研修が減っている。</p> <p>②全学年とも，人権ホームルームの記録用紙を各クラスの人権委員が活動当日，または翌日に記録用紙を作成し，提出できた。</p> <p>②各クラスの人権委員は担当月の人権新聞に真摯に取り組めた。</p> <p>②人権展のための調べ学習やレポート作成を，多くの人権委員が積極的に行うことができた。「できる できる 人権委員にならできる」と題し，各クラスで様々な個人</p>		

			<p>権課題の展示を行った。</p> <p>②人権啓発作品展を行った。作品は書道・美術中心</p> <p>②人権交流集会に2名が参加</p>		
		<p>③ PTA 研修を実施する。</p> <p>③校外研修を実施する。</p> <p>③校内研修を実施する。</p>	<p>③ 5 月「就職差別から自分を守るために」講演，7 月「いじめ問題を考える」講演，10 月「とくし丸から見た徳島の高齢者」講演，1 学期に 2 回，2 学期に 1 回ずつ実施し，3 学期は 1,2 年生の人権意見発表会に参加。県外研修は，京都大学を訪問した。</p>		
6 環境教育の推進	①資源の有効利用や環境負荷の軽減，環境保全など，地球にやさしい学校作りに積極的に取り組む。	<p>評価指数</p> <p>①節電・節水に努める。</p> <p>①ゴミの分別，減量化に努める。</p> <p>①リデュース，リユース，リサイクルに努める。</p> <p>①環境委員による校内美化活動を年間10回実施する。</p> <p>①学校周辺地域の清掃活動を年間2回以上実施する。</p>	<p>評価指標の達成度</p> <p>①校内美化活動 11 回実施</p> <p>①学校周辺地域の清掃活動 3 回実施</p>	<p>総合評価</p> <p>(評価)</p> <p>A</p>	<p>環境委員によるトイレチェックや電力の使用量調整など今後もしっかり取り組んでいってほしい。</p> <p>①環境委員の活動は活発に行われているのだが，一部の生徒はそのような活動にあまり関心がないように思われる。</p> <p>①生徒総会で「ゴミの分別をきちんとすべきだ」という意見がでたり，有志による清掃活動が見られた点は大きな進歩であると思われる。</p> <p>①省エネについての関心をより高め，今年度増加した使用電気を減らせることができるような啓発やアイデアを探りながら活動していきたい。</p>
		<p>活動計画</p> <p>①毎月の電力，水道使用量を調べ，昨年同期との比較を行い，結果を全校に知らせる。</p> <p>①スイッチや蛇口に節電・節水を呼びかける表示を貼り，注意を促し，使用していない教室等の照明をこまめに消す。</p> <p>①ゴミの分別を徹底する。</p> <p>①ペットボトル，紙パックの分別回収，家庭の廃油回収をおこない，印刷紙の裏面利用の徹底を図る。</p> <p>①環境美化に関するポスターや標語を作成する。</p> <p>①環境委員による校内美化活動を実施する。</p> <p>①学校周辺地域の清掃活動の日を設け，全校生徒で清掃奉仕活動を実施する。</p> <p>①定期的に校内放送で，環境美化や省エネについて，全校生徒に呼びかける。</p>	<p>活動計画の実施状況</p> <p>①毎月の使用電気量及び電気代を調べ，過去2年間と比較したものをグラフにして掲示する事により，より一層節電意識を高めていった。また，校内放送により周知徹底を図った。</p> <p>①ゴミの分別ができていないクラスや清掃場所をノートにチェックし，そのたびに注意勧告を行う事により，分別状況が改善されるようになった。</p> <p>①徳島県教育委員会主催の「今年の夏は早寝・早起き，朝ごはんは ECO マスター」の標語募集に参加した。</p> <p>①ペットボトル，紙パックの分別回収を行ったり，職員室では印刷用紙の裏面使用の徹底を進めた。</p> <p>①環境委員による学校行事前の校内美化活動を実施した。</p> <p>①県が推進する「530の日～ゴミゼロの日～」活動に参加し，地域周辺の清掃活動を行った。</p>	<p>(所見)</p> <p>「新学校版環境ISO」に参加申し込みを行い，「環境目標」，「行動方針・実施方法」，「役割分担・組織」などを掲示し，また環境委員を中心に省エネについて各クラスで呼びかけを行うなど，活発な活動を行う事ができたが，使用電気量は昨年と比較すると増えたことが残念である。</p> <p>校内美化・ゴミの分別に対する意識は年々向上してきており，今後も継続的に啓発活動に取り組みたい。</p>	
7 防災教育の推進	①防災意識を高め，災害時に自らの命を守り，落ち着いて行動できる能力の育成に取り組む。	<p>評価指数</p> <p>①防災について関心の高い生徒の割合を 80 %以上にする。</p>	<p>評価指標の達成度</p> <p>①学校の防災教育において，防災の意識の高まった生徒の割合 53.4%</p>	<p>総合評価</p> <p>(評価)</p> <p>B</p>	<p>防災意識が依然として低い状況にあるが，本校の立地からすれば更に意識を高める必要があるので，今後取り組んでいってほしい。</p> <p>①来年度防災クラブを立ち上げることにより，生徒の研修の機会を増やし，生徒間や地域と連携した活動の広がりが実現できるようにしたい。</p> <p>③生徒の自主的活動についても HP や掲示物で紹介し，活動の輪が広がるようにしたい。</p>
		<p>活動計画</p> <p>①年 2 回防災訓練を実施する。</p> <p>①授業を通して，自然災害についての理解を深め，防災意識の向上に努める。</p> <p>①防災通信を職員・HR に配布し，意識の向上に努める。</p>	<p>活動計画の実施状況</p> <p>① 1,2 学期にそれぞれ防災訓練を 1 回ずつ（計 2 回）実施。</p> <p>②各教科において適宜自然災害についての話題を授業に取り組み実施した。</p> <p>③防災通信を HP や掲示物で情報発信することができた。</p>	<p>(所見)</p> <p>年 2 回の防災訓練を充実したものにし，防災意識を向上させ，自分はもちろん身の周りの人の生命を守るために日頃どのような準備・心づもりすべきかの啓発活動を工夫していく必要がある。</p>	